



## 「群れ遊び」で子どもを育てる

「遊ぶのが子どもの仕事」という言い方があります。「遊びを通して、子は育つ」とも言います。いずれの場合も、遊びの効用を高くとらえた指摘です。

確かに昔は、夕方になると、遊び戯れる子どもたちの声が聞こえてくるのが常でした。私も学校から帰るとカバンを放り投げて夕方暗くなるまで遊び呆(ほう)けていたものでした。そして、「カエルが鳴くから、かえろ」と歌いながら、帰路についたものでした。しかし、現在は公園や校庭で子どもたちの「群れ遊ぶ」姿はほとんど見られなくなってしまいました。 ※「群れ遊び」とは、年齢の違う子どもたちが自由空間で自由に遊ぶことです。

少子化・情報化の進展、テレビ視聴時間の増加、テレビゲームの普及などにより、子どもたちの遊びが、「群れ型」から「孤立型」へと移行してきたためです。それ自体は別に悪いことではないのですが、この遊びの変化こそが、体力低下だけではなく「キレル」「荒れる」「校内暴力」などといった「こころ」に関する教育問題と大きく関係していることが分かってきたのです。逆の言い方をすると、子どもたちは身体を使った「群れ遊び」を通して友達とのコミュニケーションを学び、運動する喜びを経験し、心まで育てていたのです。

「群れ遊び」の良さは、「体が丈夫になる」「心身が安定する」「直接体験を積む」「友達関係が深まる」「自信を持てる」「意欲的になる」等あげられますが、さらに、黒川伊保子氏は著書「脳育ての黄金ルール」(芽ばえ社)の中で、

「①年の上の子と遊ぶので、自分の身体能力を超えて遊びます。②年の下の子と遊ぶので、その子の身体能力を見抜いて、怪我しないようにかばって遊びます。つまり他者の身体能力を測ることによって、自分の身体能力を客観的に見ることが出来ます。この二つが、小脳に大変大きな刺激を与えます。」と脳の発達にも良い影響を与えることについて述べています。

テレビやゲーム、携帯電話などの情報化の中でだけの育ちは、「群れ遊び」で学べる学びは期待できません。「遊びを通して、子どもは育つ」「『群れ遊び』は人間形成に多くの効用をもたらす」ということを、我々大人や地域社会がもう一度認識して子どもを育てていくことが大事ではないでしょうか。

本校では「群れ遊び」を重視しています。東日本大震災後に途絶えていた「ぼくら二小の遊び隊」を昨年度から復活させました。今年で2年目になります。

23日(金)に413名の全児童が35班の縦割り班(1年生から6年生を一緒にすること)に分かれて、翠ヶ丘公園で約2時間楽しく遊びました。6年生のリーダーシップが光りました。



## 各種表彰 二小児童の頑張り！

- TBC「こども音楽コンクール」 優良賞
- 岩瀬地区小中学校音楽祭（第2部合奏） 銀賞
- 平成27年度 理科作品展
  - 特選 1年 松井彩華
  - 金賞 1年 根本 律 2年 町田惇十 3年 安齋勇之介 4年 北村橙椰 山寺優成
  - 山崎雄登 5年 鈴木彩紗 山本香澄 6年 鈴木理央
- 第60回須賀川市発明展 振興賞 1年 小野菜々子
- 岩瀬地区読書感想文コンクール
  - 特選 6年 岡本 翼 準特選 2年 矢吹真悠 3年 五十嵐広洋 5年 矢吹亮将
- 「ここが好きだよ！ぼくたち、わたしたちのいわせ須賀川」作文・絵画コンクール
  - 優秀賞 2年 矢吹真悠 山寺瞬佑 昭和ノート賞 3年 鈴木優衣
- 岩瀬地区児童作文コンクール
  - 特選 4年 大竹奏里 6年 須田日菜子
  - 準特選 1年 池田莉陽人 2年 寺澤咲輝 3年 五十嵐琉登 5年 渡辺瑞季
- 須賀川市文化祭文芸大会・俳句の部
  - 特選 6年 佐々木綺華 「土用の日赤松の根は鉄のよう」 佳作 1年 和田光太郎



## 最後の地区合奏祭 6年1組 石橋瑠々子

私は、3年生の3学期に合奏部に入り、ホルンを演奏することになりました。ホルンは、音の出し方が難しく、先輩方に何度も教えてもらいました。そうした支えがあったからこそ、6年生まで続けられたのだと思います。10月1日の合奏祭では、夏休みも練習に励んだ成果を出そうと演奏に臨みました。

部員のみんなや齋藤伸也先生が納得できる演奏ができたことをうれしく思っています。



## 白かわ見学学習 2年2組 相楽孝裕

白かわだるま見学では、まっかなだるまにじ分のねがいごとを書きました。ぼくが大きくなったら、大きなおばあちゃんをつれてきてあげたいと思います。そして、おばあちゃんに白かわだるまを買ってあげたいです。

さいごは、せきの森公園でみんなでおべんとうを食べました。長い長いすべりだいであそんで、たのしかったです。



## 「人権教室」お礼のことばより 5年1組 渡辺瑞季

今日はいろいろと人権について教えていただきありがとうございました。

「ねずみ君の気持ち」のビデオでは、「相手のことを考える思いやりのある心」「みんな助け合って生きている」「お互いにちがうことはすばらしい」「心は感じるものみんなすばらしいところを持っている」ということを学びました。好きな人、きらいな人、知らない人でもみんな大切な命をもって、きらいでも、知らなくても命は守ってあげなくてはいけないと思いました。

これからは、今日学んだことを忘れずに一人一人のいいところをのびしながら学年力を高めていきたいと思っています。

